**現場の週報から（令和2年12月7日～令和3年1月3日）**

**【12月7日～12月13日】**

■ゆかりの杜：佐藤理恵さん

・ゆかりの杜のティータイムで皆さんに何が良いか伺うと「食後はコーヒーがいい」というお声が多く聞かれていましたが、今週から緑茶をお出ししています。いらっしゃる皆さんにコロナ感染者が増えている事をお伝えすると「いつもいつもコーヒーじゃなくてもね」「たまに飲む緑茶も温かくてしみるね～」「淹れる人が上手だと美味しいね」と感染予防も前向きにとらえながら取り組んでおります。

■グループホーム「けやき」：大﨑美智子さん

・クリスマスツリーの飾り付けを入居者の皆さんと一緒に行っています。「とってもきれいにできたね～」「見てるだけで幸せになるね～」と笑顔で話されております。入居者みなさんの笑顔に支えられていることに感謝です。

■ゆかりの樹：大﨑雅之さん

・晴れ間を見ながら与兵衛沼へ白鳥見物に出かけております。室内ではご利用者とクリスマス飾り制作や飾りつけを行いました。「クリスマス」「忘年会」が楽しみだというご利用者のプレッシャーを頂きながら、一緒に内容を試行中です。段々と寒くなり時折咳をされる姿も見られ始めました、風邪にも十分気を付けながら年末を迎えたいと思います。

■デイホームいずみの杜：佐々木英光さん

・ご高齢で車椅子で過ごされており体の可動域も限られている女性のSさんと、午前中活動をさせて頂きました。シクラメンの花柄摘みや洗濯物たたみ、頂き物の白菜の漬け物の押し方などされました。か細い声ながら白菜の漬け物の押し方も「疲れたわ～」と話されるも、表情よく笑顔で過ごされる場面が度々見られました。休まれる時間も取りながらご本人様と向き合い、これからも関りを深めていきたいと思います。

■グループホームあおばの杜：佐藤雄さん

・木鶏を事業所のスタッフ全員で取り組んだことで、スタッフの意識の変化が、普段の関わり、仕事への取り組む姿に現れています。ご利用者と対話し「お正月に何食べたいですか？」ご利用者からは「普段食べたいもの食べてるから別に何ってないね～」と前向きな返答が聞かれなくとも、「こうゆうのどうですか？」「お正月はいつも何食べていたんですか？」「お正月といえば・・・」と声を引き出すことができるように質問の仕方にも工夫を凝らして。余暇の過ごし方も無理強いやみんなで…というお誘いの仕方ではなく、やりたい方とやりたいことを。という姿勢が感じられます。身体を動かすことが好きな方、新聞や雑誌を読みたい方、テレビを静かに見たい方、お部屋で過ごしたい方の自由な生活を支えようと変化が見え始めています。１階ユニットには以前音楽の先生を勤められ、定年退職まで音楽と共に生きて来られ方がいます。本来ならクリスマス会ではその方のピアノの演奏に合わせ、クリスマスならではの歌をみんなで歌う企画を立てていましたが、感染予防の観点から企画内容を見直し、「みんなで合唱」ではなく、その方のピアノの演奏を披露する場として考えています。毎日自室から聞こえてくるピアノの音色。ご利用者のあきらめた想いを引き出すためには、やはりまずスタッフ一人一人が前向きであることが必要なんだと改めて感じています。

■介護老人保健設いずみの杜：平澤文さん

・Tさんの誕生日を他利用者さんとスタッフでお祝いさせて頂きました。

スタッフが「おめでとうございます！」とケーキを渡すと笑みがこぼれ、美味しそうに召し上がられておりました。コロナウイルスが拡大している中でもこうやって（９２歳）誕生日を迎えられる事が出来て、「良かった、、これからも頑張ろう！」と守ることが出来た喜びを噛みしめられ、それと同時に自分達も助けられている救われているんだなと強く感じることが出来ました。

■グループホームゆづるの杜：髙澤智子さん

・２回目のシイタケの収穫が出来ました。Oさんが毎日気にかけて下さり、霧吹きで水をあげてくれました。数は２個だけでしたが、大きく立派なシイタケがとれ、喜んでいました。

・９日に事業所のミーティングを行いました。スタッフには山崎先生からのメールをよんでいただき、あらためて個別の関わりについて、考えてたり意見交換をおこないました。今後も日頃の関わりについて振り返りを行いながら意見交換していきたいと思います。

■デイサービスみやぎの杜：穂積茂さん

・ホール内でご利用者とクリスマスや冬の食べ物の話が聞かれていました。日中にご利用者と話をする時間が以前よりの出来てきていると感じています。今後もご利用者の話を聞きながらイベントやレクリエーションを考えていきたいと思います。来週にカレー作りを行う予定になっています。

■杜の家ゆめみ：星恵美子さん

・連泊されているKさんが、飼い猫の夢を見て職員に「トラチヨ（猫の名前）が夢に出てきたから心配」と相談されました。ご家族に連絡し、ご本人とお話して頂きました。「元気だから大丈夫よ、後で顔見せに行くから」とトラチヨさんと一緒に面会に来て下さいました。玄関の外にいるトラチヨさんを見て安心されたKさん、「おいで」と行ってもなかなか傍に来なかったのですが・・・Kさんから「会えてよかった。有り難う」とお言葉を頂き、私たちも安心しました。

■デイサービスわかなの杜：鈴木樹江さん

・11日に白玉・冬至かぼちゃ作りイベントを行いました。「好きなんだよね～」と白玉粉をこねたり、手際よく湯であげと予定よりも早めに出来上がりました。皆さん「美味しい美味しい」と召し上がられおります。コロナ禍により、利用者さんからも「気分が落ち込む」「何もする気がおきない」等々声が多く聞かれるようになりました。臨機応変に、その都お話を伺い対応をしていきたいと思います。登米に職員1名ヘルプで行っており、なかなかシフトも大変な時もありますが、勤務変更等々皆さんご協力頂きありがたいです。

■さくらグループホーム：及川玲奈さん

・台所の工事の音が響き、気になりませんか？？と皆さんへ伺ってみましたが「ここでいいわ」とみなさんいつもと変わらずに過ごしていました。ドンと音が鳴るとMさんが「どんどんパンパンドンパンパーン」と歌っています。12日に工事が終了となり、皆さんから「台所がキレイになって色々楽しみです」と。洗面台も設置されて今までは歯磨きセットもスタッフが運んでいましたが、Hさんがご自分で場所まで行き口腔ケアをしていました。

■ケアハウスいちいの風：亀澤加代さん

・今年も残り僅かとなりました。コロナに備えての、これまでのメールを読み返していました。感染者数が増える中、応援に行かれた皆さんのことを想い、本番はこれからだと強く思いました。

・施設内の設えもクリスマス一色、今週クリスマス忘年会を予定しています。

・13日、職員さんのピアノの演奏や電子ピアノに内蔵されている音楽を使い、ジングルベル♪きよしこの夜♪など１０曲ほど合奏しました。以前、職員さんがピアノを奏でていたら、「これに合わせて鈴などで参加してみたい」との希望があったのがきっかけです。合奏には複数人参加され、カスタネット、トライアングル、タンバリンを使用しました。「この楽器初めて触った！すごい経験をした！おもしろいねー。」とご本人は感動されていました。「自分もまだこうやってできることがあるんだ」と自信にもつながったご様子です。

■杜の家ゆづる：半澤克也さん

・先日、ゆづるでお年寄りの皆様に作製して頂いた手作りのクリスマスリースを鶴巻保育所に、利用者さんと出向き届けてまいりました。毎年、交流会を開催しておりましたが、コロナ禍の中で交流会も中止となり、何か保育所と繋がる事は出来ないかとスタッフ高野さんの発案により行っております。高野さんとお年寄り2名で出向き、保育所の玄関先で先生にお渡しする形でしたが、窓越しに園児が笑顔で手を振る姿を見て、お年寄りも元気を貰い大変喜ばれておりました。

■介護老人保健施設さくらの杜通所リハビリテーション：丹野怜さん

・来週、クリスマス会を予定しています。来週、利用曜日によって参加できないご利用者の方がいるので一足早いクリスマスということでご利用者の方にサンタクロースになっていただき、クリスマスプレゼントを届けました。ご利用者にサンタクロースになっていただけるかお願いすると快く引き受けていただきました。「楽しかった」「まさかこんなプレゼントもらえるなんて」と喜んでいただきました。

**【12月14日～12月20日】**

■介護老人保健施設希望の杜通所リハビリテーション：高橋秀和さん

・通所に通われている方で、入所されている仲良しの方と会いたいと話され、ズームに接続しPadを手渡し相手の顔を見ると大粒の涙を流され会えて良かったと話されました。お相手の方の耳が遠かったのか会話が通じない部分もありましたが身振り手振りの表情変化を楽しまれていました。

■ケアハウスいちいの風：亀澤加代さん

・19日クリスマス・忘年会を行いました。今年1年を振り返り、個々に思うこと、お話し伺えたと思います。「大変な状況だけども、ここで笑ってられるもの。それでいいの。」とYさん。「今年は収束することを祈って」と言葉にしない想いをかみしめているKさん。そして余興に大笑いする皆さん。ここでできる当たり前のことを、大切にしていきたいと思います。

■ゆかりの杜：佐藤理恵さん

・ご利用者の皆さんに「ゆかりの杜の玄関、お手洗い、お風呂場、クロスが新しくなるための工事が入ります」とご説明しました。喜んでくださる方もたくさんいらっしゃいましたが、気を遣ってくださったのか「何も新しくしなくてもいいんだよ。今、こういう建物ないでしょ？味があるっていうのもいいのもですよ。私たちみたいに」と冗談交じりに笑顔で話してくださいました。何でも新しいものが良いと思いがちですが、今までのゆかりの杜を支えてきてくれた建物に感謝の気持ちを込めながら、改装後も大切に使いたいと思いました。

■デイホームいずみの杜：佐々木英光さん

・排泄ケアを3人体制で対応させて頂いている力の強い男性のKさんですが、排泄ケア後は少し落ち着かなくなったり外へ出て行かれることもありますが、ある日はニコっとした表情で珍しいご様子がありました。以前野球をされていたご経験があり、午後よりボール投げへお誘いさせて頂くとやってくださいました。変化球をつけたり、テーブルを使ってバウンドさせてわざと職員が取りずらいように返したりと、時々声をあげながら表情が穏やかで笑っている（時にむきになっていることも・・）時間がたくさん感じられました。

■デイサービス悠々：梅村卓也さん

・クリスマスツリー作り（先月から散歩の際松ぼっくりを拾い、好きな色を飾って作成）やりたい人を聞いて対応。Ａさんがお嫁さんの為に作成し、プレゼントするといつも笑顔が少ないお嫁さんが笑顔で喜んでおられた様です。皆さん好きなデザインを選び楽しんで作成しておりました。

・毎年近所の方よりゆずをいただいております。今年もいただいたゆずで、ゆず湯を楽しみました。お風呂に入ったご利用者からはとても気持ちがよいと好評です。体験利用された方も数か月お風呂に入っていない方でしたが、久しぶりに気持ちいいお風呂に入りとても喜ばれておられました。

■グループホームゆづるの杜：髙澤智子さん

・雪が積もる前に…とスタッフが散歩に連れて行ってくれました。偶然、ご近所に住むＫさんのご家族にお会いし、久しぶりの面会となり、ご本人もお嫁さんも喜ばれておりました。1階ユニットではＴＡさん、Ｏさんの合同誕生会を行いました。Oさんの笑顔がとても印象的でした。

　今週は、本日が２階でＴＯさんの誕生会、24日には両ユニットでクリスマス会を予定しています。コロナ対策をしながら、美味しい物を食べて楽しみたいと思います。

■グループホームはごうの杜：小山匡信さん

・少し遅れてしまいましたが、各ユニットにクリスマスツリーを出しました。設えをしながら皆さんとクリスマス談議で盛り上がり「私が子供の時はこんなのなかったからね。今年は何かいいプレゼントあるのかな？」と話されておりました。また、「今年はクリスマス会はどうなってるんですか？」と気にされる方もおり、現在のコロナ状況を伝えつつ今までのような来客を呼んでの会は出来ないことをお伝えしておりますが、共に楽しめるよう企画をしております。

■グループホーム「けやき」：大﨑美智子さん

・入居者のみなさんと年末大掃除について話していると「大昔は川の水を汲んできてお湯にすることもなく水のまま使ったんだよ～。今は本当に恵まれてるよね～」とお話しを伺い、私たちの大変とは比にならない時代を賢明に過ごされてこられたみなさんに感銘を受けました。これからも、入居者のみなさんのお知恵を沢山いただきながら共に楽しく過ごして行きたいと思います

■さくらグループホーム：及川玲奈さん

・クリスマスの話になり、飾りを飾っていますが、クリスマスは馴染みがない皆さん。忘年会はと伺って「美味しい物食べたい」となり、ちらし寿司を企画しました。ネタ選びを一緒に行い「いいの？」と遠慮がちにウニを選ぶ。また忘年会だからお酒は？とＨさんへ聞くと「ナポレオン飲んでたんだ」とまだまだ知らなかった一面が一緒に考える事で出てきました。

■いずみの杜診療所：渡邊麻衣子さん

・20日に年内最後のイベントを開催しました。今回も診療所と老健に分かれ午前中はビンゴ大会、午後は診療所ではＩさんが作成したスライドショー、老健はタッチングを行っております。ビンゴ大会は大盛り上がり、そして景品に皆さん大変喜ばれておりました。Ｉさんのスライドには感激され涙ぐむ方もいらっしゃいました。Ｉさんは来年用にとすでに案をスタッフに伝えております。ぜひお願いしたいと思います。

■杜の家ゆめみ：星恵美子さん

・男性利用者さんがシクラメンの鉢植えをゆめみに飾ってほしいと持って来てくれました。水やりも土のかわきを確かめながらご自分で行っています。ご自分で役割を見つけて頂きました。また違う男性ご利用者は手先が器用な方で、いつもは昼食作りを職員と一緒にして頂いていますが、踏み台作りにもチャレンジして頂きました。ホールと和室の段差の高さや、踏み台としての幅はどのくらいが安定感があるか試行錯誤して測定されました。その日に行った工程をご自分のタブレットに写真で残しておき、次のご利用の時に思い出して頂き、取り組んで頂きました。踏み台は完成しましたが、木材のままでは危ないので足をのせる面に何を貼るかを相談中です。

■グループホームゆめみの杜：佐藤恵美子さん

・雪が降って皆さんビックリされていましたが、「寒さに負けていられない」とお部屋で洗濯され外に洗濯物を干しに行かれる方や、毎日、夕食後の日課になっている食器拭きを「今日もやりますからね～」と昼からアピールされている方、皆さん自分でやりたいことを決めながらそれぞれ毎日過ごされています。

■杜の家ゆづる：半澤克也さん

・23日24日とゆづるでは、クリスマス・忘年会を予定しております。今週は会に向けて手作りプレゼントとして、松ぼっくりのクリスマスツリー作製が急ピッチで進められています。以前に散歩の際に近所の公園より拾ってきたものにビーズなどを装飾して、お年寄り個々に作製して頂いております。どれ一つとっても同じツリーは無く、お年寄りの皆様も色合い、バランスを考えながら装飾されておりました。可愛らしい素敵なツリーがゆづるの室内を華やかにしています。当日はお年寄りの皆様に自宅へお持ち帰り頂き各マイホームで玄関やリビングにクリスマスツリーを飾り思い出の一つとなることを願っています。



■デイサービスわかなの杜：鈴木樹江さん

・雪の日が多く、お休みされる方も多かったです。19日には毎年恒例の忘年会。規模を縮小しての開催でしたが、「これで今年も終わりだね」としみじみされておりました。健さんの応援部隊もひと段落し、わかな職員も安堵しております。健さんの近況を聞き、職員間でも休憩室での密状況の改善や更に意識が高まったと思われます。今年も残りわずかですが無事に新年を迎えられるように今一度気を引き締めて参りたいと思います。

■介護老人保健施設さくらの杜：佐藤まゆみさん

・16日にコロナの模擬訓練を実施しています。稲穂ユニットで不明熱が出たことを想定し初動訓練を行いました。目的としては、居室対応時の物品の確認と搬入。連絡系統の確認。ご利用者の接触履歴、スタッフの行動履歴の洗いだしと報告。シフト変更練習です。看護師から先生に報告し指示をもらいながら実際PPE装着もしました。実際動いてみることで業者さんに連絡するタイミングは？感染用ごみ袋が足りない…など具体的な課題が見えてきました。明後日は別ユニットで想定を変えての訓練を実施していきます。全ユニットが訓練を重ねながら、いざという時に慌てないよう、感染を広げないようご利用者の命を守るための備えを行っています。

■グループホームななみの杜：澤村直子さん

・大雪が降り17日予定した泉パークタウンへのページェントドライブは中止にしました。どんどん降り積もる雪に、皆さん窓から「あら～雪だな」「ずいぶん積もるね」など外の様子を気にかけていました。雪で出勤が遅れた職員に「大変だったでしょう。あなたもやきもきしちゃうよね」等優しい言葉をかける方もいました。お盆に乗るサイズの雪だるまを作り見てもらうと「あ～ずいぶん可愛いの作ったね！」など感想を延べたり、実際に触って「う～ひゃっこい！」と言われたりしていました。職員が駐車場の雪かきをしてくると「大変だったでしょう。ご苦労さん。早くあったまりなさい」と労ってくれました。

**【12月21日～12月27日】**

■ゆかりの杜：佐藤理恵さん

・クリスマスということで、皆さんでケーキを作りました。クリームとミックスベリーで何だか、すごく洒落な仕上がりになりました。小声でジェスチャーを大きく「かんぱ～い」と祝い「子どもが大きくなるとね、ケーキなんて買わないし食べないから、皆で食べれば何でも美味しいね」と喜んでくださいました。職員を気遣い「一緒に食べよう」と声を掛けて下さった方もいらしたのですが、感染予防の為、そこは我慢しました。コロナが終息した際には、大声で乾杯をして、大声で笑い、会食やイベントを楽しみたいと思いました。

■グループホームいずみの杜：菅澤宏紀さん

・24、25日にクリスマス会のイベントを実施しました。当日は豪華な食事に加えて、職員から普段の感謝の気持ちを込めてお一人お一人へプレゼントをお渡ししました。コロナで以前のように大勢で賑やかに、とはいかず少し物足りない気もありましたが、それでも皆さんとても楽しんで参加されておりました。

■ケアハウスいちいの風：亀澤加代さん

・クリスマスも終わり、お正月の準備を少しずつ行っています。ご利用者の想いを聞き逃さないように、想いを叶えるためにできること、行動に移すことができるように、ノートを1冊用意しました。スタッフがいたこと（やりたいこと、想い）を書いてもらい、毎朝みんなで確認し、それをいつするか予定を立てます。行動しなければ、聴きっぱなしで終わってしまいます。想いを受けとめ、共に良い時間を過ごしたいと思います。

■デイサービスみやぎの杜：穂積茂さん

・「冬至かぼちゃ」をご利用者と一緒に作りました。お料理が得意な方もおり、味付けや火加減などご利用者と職員が楽しそうに作っていました。「美味しいね」「今度は違うものを作りたいね」と和気あいあいとしておりました。久しぶりのイベントでしたが、ご利用されていた方、職員共に楽しい、冬の時間を過ごすことができました。来月も行っていきたいと思います。

■デイホームいずみの杜：佐々木英光さん

・クリスマス忘年会の日、Iさんは午前中よりサンドイッチ作りを手伝って下さり、お昼には豪華なオードブルも食卓に並びたくさん召し上がりました。午後から手作業をされ、その後パフェ作りも始まり、数種類の果物の準備が整いこれから盛り付けをしようとした所、ご本人はぶどうに両手が伸びこっそりつまみ食いをされておりました。職員からばれてしまい半分は返しましたが残りを召し上がり、はにかんだ表情で嬉しそうに食べていた様子が、その日一番の笑顔に見えたのが印象的でした。

■デイサービス悠々：梅村卓也さん

・24、25日クリスマス会。ささやかですが、クリスマスディナー、ケーキを召し上がり、皆さん喜んでおりました。悠々初めてのクリスマス会。午後よりビンゴ大会をし、景品を頂きとても喜んでおりました。

■グループホーム「けやき」：大﨑美智子さん

・25日にクリスマス忘年会を行っています。お昼ご飯にはクリスマスメニューをみなさんで美味しく頂きました。午後からは、一年の写真をスライドショーにしみなさんでご覧いただき楽しまれております。

■さくらグループホーム：及川玲奈さん

・皆さんと進めていた忘年会。25日に行っています。「これは飲めないんでしょ？」とお酒について話す阿部さん。飲んでいいんですよと伝えると「じゃー楽しみにしてるわ」と。3年ぶりに飲んだと、いいちこのナポレオンを嬉しそうに飲んでいたＨさん。みなさん思い思いに過ごしていました。今年の年賀状はどうしますか？と伺い、出したいと話した方、もう卒業だとやめた方。ご家族へ書いて頂き年賀状をだしました。

■ケアホームいちいの杜：久保内大介さん

・25日クリスマス会を行っています。特に出し物をするとかはありませんでしたが、いつもより豪華なお食事とデザートなどを食べ、お話をしたり写真を撮ってゆっくりした時間を過ごしました。

■杜の家ゆづる：半澤克也さん

・23、24日とゆづるクリスマス・忘年会を実施しております。両日ともにクリスマスメニューとして、事前にお年寄りと一緒にメニューを決めました。23日は手作りハンバーグやもち米の五目ごはんなど、24日は海鮮手巻き寿司などお年寄りの皆様で昼食づくりを行っています。さすが、ベテラン主婦の皆様。具材の入れる順番や味が染み込むように仕度したりと、ゆづるのおふくろさんの味を堪能させて頂きました。今回準備からお年寄りが中心となり会を実施しましたが、お年寄りもスタッフも思い出に残る楽しい時間を共有できました。



■グループホームかぐらの杜：野本麻未さん

・24、25日に感染対策を行ないながら、それぞれのユニットにてクリスマス会を行っています。24日は2階ユニットにて行っています。利用者さんと一緒にピザを作り、お祝いをしています。ピザは皆さんお好きな様子であっという間に召し上がり、「久しぶりに食べておいしかった」と楽しい時間を過ごされています。会の最後には、利用者さんと一緒に作成した表札をプレゼントとしてお渡ししています。ご自分の部屋の入り口に、その人らしいデザインで作成した表札を飾っています。25日は1階ユニットにてクリスマス会を行っています。ケーキ作りが好きな利用者さんのリクエストに応えて、クリスマスケーキを皆さんで作っています。担当職員からメッセージをお伝えし、クリスマスカードをお渡しています。「こんなサプライズがあるなんて！」ととても皆さんびっくりし喜ばれていました。

■ゆかりの樹：大﨑雅之さん

・クリスマス会を開催し、皆さんとクリスマスケーキ作りを行いました。手作りのケーキに皆さん喜ばれ、楽しみながら作ることができました。ささやかですがスタッフの出し物やサンタクロースの扮装も喜んで頂けました。また、天気の良い日に泉ヶ岳へドライブに出掛け、一面の雪景色にみんなで感動しました。

■グループホームゆめみの杜：佐藤恵美子さん

・23日に山崎製パン工場よりクリスマスケーキ5箱頂きました。地元からのプレゼントに入居者の皆さんも「さすが柴田町」と絶賛されていました。ケーキを食べている入居者さんの写真と一緒にお礼状を添えて感謝の気持ちを贈りました。25日にもクリスマス会を開催しました。入居者の皆さんからリクエストがあったお寿司を食べながらのクリスマス会。皆さん完食されていました。早くも次のリクエストが「正月も寿司だな！！」

■ケアホームさくらの杜：志賀千春さん

・22日クリスマス会。普段と違うメニューで、チキンやスパゲッティ、ケーキを食べられています。職員とご利用者による、二人ばおりや、トナカイ、サンタによプレゼントをお渡ししたりと楽しく過ごされていました。

■ショートステイわかなの杜：齋藤匡晴さん

・病院から退院後そのままSSわかなをご利用されている方がいらっしゃいますが、先日「外の空気を吸いに行きたい」とお話がありました。入院からずっと外に出られない生活を送っておられ、「中にばっかりいると息が詰る。」と職員と一緒に近くを散歩にいきました。元々施設の近くで生活されており、「懐かしいね。この辺も変わったね。あっちには○○があるんだよね？」と普段とは違い色々なことをお話しして下さいました。短時間の散歩ではありますが「ありがとうね」と、とても嬉しそうに話してくださいました。

■介護老人保健施設さくらの杜：佐藤まゆみさん

・今年の年賀状はユニットごとにデザインを考え個性的な年賀状が出来ました。ご自宅以外に出したい方はいないですかとご利用者に伺うと[元職場に出したい」「東京の娘に」「３人の息子たちに」とご希望があり書ける方にはご自分で絵やコメントを書いていただきました。コメントの多くは「早く会いたいです」「顔が見たい」「心配しないで」とコロナの影響でなかなか会えないことへの切ない想いが込められていました。この年賀状を通して少しでもご家族、お知り合いの方との心交わすものになればいいと願います。

■グループホームゆづるの杜：高澤智子さん

・24日に各ユニットでクリスマス会を行いました。洋風の食事にしたユニット、お寿司が食べたいとお寿司を食べたユニット、それぞれのユニット毎に個性のあるイベントとなりました。利用者さんに合わせて準備したプレゼントやカードをもらって、多くの方から笑顔が見られました。高澤と半澤さんでPPEを着用しての訓練を行っています。興味を持って、着る作業を手伝って下さったＯさん、不思議そうに「誰だぁ？」と半澤さんを見つめるＴさんなど利用者さんの反応はそれぞれですが、実際にスタッフも着用して動くことで体感出来る事、もし、万が一発生した際にどこを気をつけたらいいかがイメージしやすいです。年末年始、外出や外泊は難しいですが、ホームでのお正月を皆さんと一緒に楽しみたいと思います。

■みはるの杜診療所：庄司崇浩さん

・22、25日にスノードーム作りイベントを行いました（５人程度の小規模イベント）。安田栄子さんが定期的に企画している作業イベントです。参加した方が作製したスノードームを自宅に持ち帰ったところ、孫たちにとても好評だったと教えてくれました。6歳になる孫さんから「私もおばあちゃん位の歳になったらみはるの杜に行く」と言われたそうで、とても嬉しかったと話してくれました。

■グループホームあおばの杜：佐藤雄さん

・25日1階ユニットにてクリスマス会を実施しました。まずは綿密なプログラム。ご利用者の皆様に最後まで飽きることなく楽しんで頂こうとする姿勢が伺えます。Ｈさんの演奏会では何と7曲を披露！みんなで合唱というスタイルでは勿論ありませんが、ご利用者の中には知っているフレーズを口ずさまれ、この日の為に毎日欠かさず練習されてきたＨさんの背中を後押しし、演奏する姿にも次第に熱が入っていく様子が印象的でした。ご利用者一人一人へ手作りのメッセージカードとフラワーBOXに、最後は店頭に並んでもおかしくないクオリティのご利用者・スタッフで力を合わせたクリスマスケーキ。イベントの企画・進行を担って下さった大友美波さん、中嶋遥さんお疲れ様でした。コロナで不憫な想いをしているご利用者の皆様へ、笑顔という何よりのクリスマスプレゼントがお一人お一人の心に届いていました。

■杜の家みやぎ：佐藤新平さん

・24、26日二日間にわけて、クリスマス会を行っております。感染予防に注意しながら、その日の通いの利用者の方にそれぞれにケーキをご自分でデコレーションして頂いたり、最後にはビンゴ大会を行い、笑いの絶えないクリスマス会となりました。今後も感染予防に注意しながら、ご利用者と楽しめる行事等を一緒に考えながら実施していきたいと思います。

■介護老人保健施設さくらの杜通所リハビリテーション：丹野怜さん

・クリスマス会を行いました。以前から「ケーキを作りたい」と話されていたＴさんの想いを形にでき、スタッフと一緒にケーキ作りをしました。Ｔさんからは「何年かぶりにケーキを作った。楽しかった」と喜ばれていました。「昔は、子どもたちにマドレーヌを作ってあげていたんだけどね」と話されていました。次回またお菓子作りができればと思います。

・門松作りも行いました。Ｉさんご指導のもと、立派な門松が完成しました。なんども打ち合わせをして、「松が足りない。もっと必要だ」と話され松集めにスタッフがはしり、なんとかたくさんの松を集めることができました。ご利用者からも「立派な門松だね。すごいね。」という声が聞かれています。



**【12月28日～1月3日】**

■ケアハウスいちいの風：亀澤加代さん

・いつもならお正月に親戚が集まって会食をしたり、お泊りに行かれたり、孫さんや曾孫さんが他県から大勢で面会に来られるのが年末年始の光景でしたが、今年は年賀状を眺めたり、そっと電話したりと、いつになく静かなお正月です。ピアノに合わせて歌を歌ったり、おせち作りや盛り付けをしたり、かるた取りをしたり、書初めをしたり。ご家族さんと一緒に過ごすことに変えられるものはないかもしれませんが、そんなひとときを過ごしました。

■介護老人保健施設いずみの杜：平澤文さん

・28日利用者さん数名と一緒に「仙台光のページェント」を見に行きました。夜のドライブに皆さんワクワクしながら、車内の会話も弾みました。通りの木々にたくさんのイルミネーション。自然と「わぁ…！」と声が漏れる利用者さん達。短い時間ではありましたが楽しい時間を過ごすことが出来ました。

■いずみの杜診療所：渡邊麻衣子さん

・ＩさんがGHななみに入居されている奥さんと面会が出来ない状況です。「今年も終わるから会いたいな～」とご本人からお話しがあり、ZOOMでの面会を行っております。お二人共に涙ぐまれる様子あり、ZOOM面会の後も奥さんのお話しをされ、夫婦愛を感じました。

■グループホームゆめみの杜：佐藤恵美子さん

・31日は大みそかということで、夜勤職員と一緒にTVをみながら年をこされた方もおりました。1月1日にはおせち料理から始まり、夕食にはナメタガレイを食べながらお正月をあじわっております。

■グループホームゆづるの杜：髙澤智子さん

・年末も年始も体調崩す方もおらず、元気に過ごされています。今年は例年と違い、外泊・外出される方もおらず、またご家族の面会もなしの少し寂しいお正月でしたが、利用者さんに協力して頂きながらお正月飾りを飾り、元旦は重箱に詰めたお節料理を楽しみました。朝からＣさんが着物を着て来られました。「久しぶりだから着方を忘れちゃった」と話されていましたが、玄関のお正月の装飾と一緒に記念撮影を行いました。また、1月2日には書初めを行っています。すらすらと何枚も書くＫさん、向かいではなかなか納得がいかずに悩みながら書かれたＹさん。それぞれの素敵な書初めは飾らせていただきました。あっという間にお正月が終わってしまった印象ですが、これからも身体に気をつけて過ごしていきたいと思います。

■介護老人保健施設さくらの杜通所リハビリテーション：丹野怜さん

・昨年末に新年を迎えるにあたり、ご利用者とお正月の準備を行いました。Ｔさんが家内安全、疫病退散のお札を作成していただきました。全て手作りでコロナにかからないようにとの思いが込められています。Ｔさんより、欲しい方がいたら分けるからとのことでした。



■ゆかりの杜：佐藤理恵さん

・本人、ご家族様への通知文の配布が終了すると、ご家族様よりマスク着用に「うちの主人がマスク着用に協力できなくてごめんなさい」「うちのマスク出来なくてごめんな」というお声を送迎の際にかけていただくことが多々ありました。ゆかりの杜では常時マスクの着用ができるご利用者は1/3程度の方で、皆さんに付けて頂くというのはなかなか難しいところがあります。ご家族様からの配慮の言葉に、だからこそ換気と消毒を徹底し、体調管理に気を付け、皆さんを守るということが大切だと気持ちの引き締まる一年の終わりを迎えました。

■さくらグループホーム：及川玲奈さん

・今年はコロナ禍という事もあり正月は家族と過ごす時間をもてず、楽しみは食事です。31日の夕食はなめたカレイの煮つけ、ビールやお酒とお好きな飲み物で乾杯をしました。Ｈさんから「晩酌をしてもいいのかな」と以前自宅にて晩酌をしていたことなど話がでました。いつでもどうぞと声をかけると笑って「今日のは少し濃かったな」と。絵馬を書いて福笑いをしてみました。

■グループホームかぐらの杜：野本麻未さん

・31日にご利用者から「お正月にきんぴらごぼう作らなんですか？」との要望があり、食材を準備し、一緒にきんぴらごぼうを作っています。硬いごぼう、人参を丁寧に千切りしてくださり、味付けも行って頂いています。また、元旦にお出しするかまぼこも、「家ではこういう風に切ってたの」と飾り切りしてくださっています。「お正月料理のお手伝いできてほんとに今日は幸せです」と話され、喜ばれていました。準備した料理を、元旦に皆さんで食べて、新年を迎えています。

■杜の家かぐら：冨沢直人さん

・30日に忘年会＆Ｓさん100歳お誕生日会を行いました。大規模での会ではありませんでしたが、当日にいらっしゃる方達で精一杯のお祝いを行いました。ご本人も喜んでくださった様子で、素敵な笑顔を見せて下さいました。1月よりグループホームかぐらの杜に入居となりますが、感染予防を行いながらこれからも関わる機会を持って行きたいと思います。

■杜の家ゆめみ：星恵美子さん

・年末に皆さんと一緒にお正月飾りを玄関と水回りや居室等に飾りました。来年こそはコロナが収束しますようにと、願いを込めました。また、初詣に行ったつもりで、ご利用者お一人お一人に絵馬を書いていただきました。健康第一と健康面を願う方が多い中、「ママ、いつまでも若くて元気でいて下さい」とお嫁さんを想うご利用者もいらっしゃいました。やはり、お互いを思いやる心が大切であり、私たちの仕事にも常に持っていなければならない心だと改めて感じました。職員の絵馬は・・・筋肉をつける・宝くじが当たるように・・・でした。

■グループホームめぶきの杜：名取直保美さん

・30日昼食にオードブルとサンドイッチを準備して、入居者さん、スタッフと共に、今年一年の感謝をお伝えしながら、忘年会を行いました。

・1月1日朝は白玉団子のお雑煮、あんこ、きなこ餅をお出しし、昼食はお節料理を重箱に詰めて少しでもお正月気分を味わって頂きました。お節料理は皆さん「すごい、ご馳走だこと！」と召し上がって頂きました。おやつには、生菓子をお出しし、茶たくでお客様用のお茶をお出ししました。

■杜の家ゆづる：半澤克也さん

・31日はご利用の皆様と一緒に年越しそばを食べながら、この1年間を振り返るとともに新年もコロナに負けず、一日一日を大切にし、できることを思う存分楽しみながら過ごせるよう皆さんと語らいあいました。帰りの送迎時には一本絞めで一年を締めくくりました。また、ゆづるの側の小さな神社に初詣に出掛け、一年無事に過ごせるようにと手を合わせてきました。

■ショートステイみはるの杜：濵松良樹さん

・1月1日には福笑いレク実施。材料もあるもので作成し、新規の方も混ざって楽しまれております。また当日は天気もすぐれなかったので 初詣も個別対応で感染症対策を行った上で近所の神社へ参拝に出かけております。



■グループホームかなでの杜：佐藤政博さん

・ユニット交流が制限されている中、小規模でしたが毎年恒例の餅つきを行いました。年末の季節行事として皆さんやはり餅つきには特別の想いがあり、お手伝いをしながらたのしまれておりました。嚥下機能の状態により、小さく切って提供するなどしながら、皆さん美味しく食されているようでした。食欲が落ちて定期的に点滴を受けていたＭさんも餅はしっかり召し上がっており、やはり高齢の方にとっての年末年始のお餅は、ただの食材ではない特別なものなのだと改めて認識させられました。

■デイサービスみやぎの杜：穂積茂さん

・29日にデリバリーのイベントを行いました。今年最後のイベントになっており、利用されたご利用者と一緒にお寿司を頂きました。午後からはロールケーキを一緒に作りました。「今年も終わりね」、「楽しい一年だったな」とご利用者からお話を頂きました。来年もご利用者の声を大切にしながらイベントを行いたいと思います。